## まこと会便り

2019/

皆様、いかがお過ごしでしょうか。

しました白井成允先生の詩が身に沁みます。 れる穏やかな日が続きます。以前にもご紹介 はいつもと変わらず、黄金色の日の光で包ま 前住職を見送った夏が過ぎました。 秋の空

声は西方より来りて

身を巡り髄に徹る

身は娑婆にありつつも よろこばしいかな

すでに浄土の光耀をかうむる

あはれあはれ十方の同胞

同じく声を聞いて

みな倶(とも)に一処に会(え)せん

南無阿弥陀仏

(「召喚の声」より抜粋)

ことの不可思議さ、先人の方々から続くご縁 の有難さが、そこには確かにあるのです。 私の口から南無阿弥陀仏のお名号が出てくる り前のように思っているかもしれませんが、 が求めずとも私に届いてくださいます。当た 隔たりがありません。阿弥陀様のお救いも私 します。それは誰に対しても等しく照らして 陽の光は私が求めずとも明るく温かく照ら

## 行事予定



十二月 四日 ヨガの会

十二月二十日 ヨガの会

令和二年

一月十四日

光圓寺 御正忌法要

講師

一月十七日 ヨガの会

## 報恩講ありがとうございました

去る十月三十日に光圓寺報恩講が無事に

勤まりました。

十月二十六日が四十九日忌でした。前住職は 九月に前住職が亡くなり、ご法座すぐ前の

報恩講のお斎をいただいて「光圓寺のお斎が

いちばん美味しい」といつも喜んでいましたの で、今年も変わらず美味しいお斎を、皆さま

とご一緒にいただくことができ、しみじみ

嬉しくいただきました。

今年のお斎は、南観音中・西地区のみなさま

がお接待下さいました。

大人数の準備を手際よくなさって、美味しい

お斎を温かくいただくことができました。

お世話になり、ありがとうございました。

楽しみにしております また来年も皆さまとご一緒できることを

## 【報恩講・秋季永代経法要 坊守覚え書】

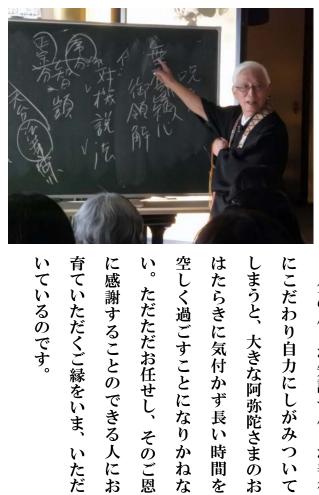
南無阿弥陀仏・・・報恩行に生きる

世は無常なり。これは誰でも感ずるところのあることでしょう。そのでは、なぜ変化していくのでしょう。それは「因―杲」と思われがちですが、因と果だけなら変化は起こらない。善の因は善の果を出し、そが、因と果だけなら変化は起こらない。善の因は善の果を出し、そずっと悪を出し続けることになる。しかし私たちはそうではない。ずることもできる。そこには必ず何かのきっかけが入ってくる。その世は無常なり。これは誰でも感ずるところのあることでしょう。

**私たちは沢山の命をいただいてやっと生きていくことのできる存在となることができるでしょうか。**「こればかりか、同じ人間同士の中でも周囲の人を見ては羨んだです。そればかりか、同じ人間同士の中でも周囲の人を見ては羨んだです。そればかりか、同じ人間同士の中でも周囲の人を見ては羨んだに入ることができるでしょうか。

何かのきっかけが「縁」なのです。





私たちは自らの業ではとうていお浄土に参ることはできません。 しかし、この私の業を転じて参れ るようにしてくださるのが阿弥 を如来さまのおはたらきなので す。それがどれだけ希有なことか に気付けば、そのご恩に感謝しな いではいられないでしょう。私た ちはお聴聞を通してそれに気付 くご縁をいただいているのです。